

# 夢への 男女共同参画社会 挑戦

## 保育サポート「ママの手」

このコーナーでは、様々な分野で「それぞれの夢」に挑戦している市民の方を紹介しています。今回は中央区を拠点に活動を行っている保育ボランティアグループ「ママの手」取材しました。



## 子育てを 応援します

子育て中でも、勉強したり、地域で活動したり、社会の中で学んでみたいと思ったことはありませんか。男女共同参画社会は、様々な場面でともに支え合いながら、誰もが個性と能力を発揮できる社会です。

「ママの手」は、働く母親だけでなく、自宅で子育てをしている母親にも支援の手を差し伸べたいという思いから、女性総合センター（旧与野市）の「保育サービス養成講座」の修了生が立ち上げた有償ボランティアグループです。

「子どもがいると、自分のために活動する時間がなかなか持てないものです。私も小さな子どもを抱えていて、預かってくれる場がほしかった。でも当時はそのような場がなく、また周囲の理解も少なかった。それなら自分たちで作ろうと、会を立ち上げたのです」と、メンバーの一人は、動機についてこう語ってくれました。

あえて有償にしたのは、それぞれが責任を持って活動できること、また利用する側も気兼ねなく子どもを預けられると考えたからです。会の運営は、みんなで納得いくまで話し合い、自分の子どもだったらどんな保育をして欲しいか考えながら、きめ細やかな対応をしています。

「ママの手」の名前には、本当のマ

マの手ではないけれど、変わらぬやさしい手で子どもたちを包んであげたい。手と手をつなぐことで何かを生み出したいという思いが込められています。発足6年目を迎えた現在、40人のメンバーで活動しています。

これまで、利用者宅でお子さんをお預かりする「サポート保育」のほか、子育て中でも様々な活動に参加できるよう、公民館などの講座の託児をする「グループ保育」を実施してきました。現在は、行政の講座だけでなく、自主的な学習グループの勉強会などからも保育を依頼されるケースが増えてきたといいます。

こうした託児の流れを受け、最近で

は、父親が子どもを預けて講演会に出席する姿も見られるようになってきました。

メンバーの方に活動から得られた感想を伺ってみると、「子育て中でも社会とのかかわりは大事。私自身、この活動を通して、自分育てをさせてもらっていると感じています」「お子さんを迎えに来たあと、いきいきした顔で帰って行かれる姿を見て、社会全体で子育てしていくことが大事だと思いました」などの声が聞かれました。

### 男女共同参画社会情報誌『You&Me～夢～』通信員の募集

情報誌の誌面づくりにご協力いただくボランティアを募集します。

対象／市内在住・在勤・在学の方（ただし、年3回程度開催する平日昼間の会議に出席できる方）  
募集人数／8名（任期は2年 平成18年4月～平成20年3月）

活動内容／企画から編集まで携わり、行政と協働して情報誌をつくります。

応募方法／情報誌に関する感想と男女共同参画についてのご意見を1000字以内にまとめ、住所、氏名（ふりがな）、年齢、職業（又は所属団体）、電話番号を明記の上、3月6日（月）までに、直接、又は郵送で男女共生推進課へ。

結果通知／3月末日までに応募者全員に結果をご連絡します。

●問合せ／男女共生推進課 電話829-1231

◎本誌へのご意見・ご感想は、男女共生推進課まで。  
FAXやE-mailでも受け付けています。